

# くまもと 就農支援だより

Vol.4  
2020/7

NPO法人 熊本県就農支援機関協議会

## 熊本県就農支援機関協議会活動報告

令和元年9月 大分のJA支援の研修制度を学ぶ～気づき研修で

令和元年9月10日(火)～11日(水)の1泊2日の日程で、認定研修機関等14名が参加し、気づき研修が実施されました、1日目は、大分県豊後大野市インキュベーションファーム。2日目は、(公社)大分県農業農村振興公社と大分味一ねぎトレーニングファーム(宇佐市)で調査研修、意見交換を実施しました。

参加者からは、インキュベーションファームの指導者の熱い情熱の元、市、JAが一体となって研修生を育てている実際や、(公社)大分県農業農村振興公社、県地域振興局との新規就農育成の連携活動に強い関心が寄せられました。

また、味一ねぎトレーニングファームでは、JA出資で、生産から販売までの一貫したシステムで運営されており、指導責任者にはJA職員があり、就農後のフォローアップにも力を入れた支援が行われていました。

研修参加者の総体評価は、全員が良かったと高い評価で、「来年は更に多くの担当者が気づき研修に参加してもらいたい」などの意見が出されていました。



(公社)大分県農業農村振興公社意見交換会風景



味一ねぎトレーニングファーム研修風景



豊後大野市インキュベーションファーム研修風景

# 令和元年11月 農業会議と合同で開催～第2回受入農家研修会～

令和元年11月13日(水)、ホテル熊本テルサにて午後1時から(一社)熊本県農業会議の「農の雇用事業採択経営体」と合同で、「受入農家研修会」を参加者124名で実施いたしました。

まず、熊本県農地・担い手支援課の竹下主幹から「新規就農者育成の体制と流れ」について説明があり、続いて「新規就農者育成研修受入れの実際と課題」について、当協議会の木之内均理事長が基調講演を行いました。

その後、「研修生をより良く育てるためには」をテーマにパネルディスカッションを行いました。パネラーとして、(株)天芯農場の澤村輝彦会長、(株)藤瀬農園 藤瀬修専務、(株)菊川農園 菊川敏徳代表取締役の3名。ファシリテーターを、(一社)熊本県農業会議の岩崎相談員と、当協議会・平岡浩晃スペシャリストが務め、アドバイザーとして木之内均理事長、吉村孫徳事務局長があたり執り行いました。

研修後のアンケート結果では「大変良かった」「良かった」が97.6%と非常に高い評価でした。とくに、「新規就農者受入れに直面する課題の討議が出来た」などの感想が複数出されるなど「意義深い研修会であった」との感想がよせられました。



開会式  
左から…(一社)熊本県農業会議 下舞事務局長  
NPO法人 熊本県就農支援機関協議会理事長 木之内  
熊本県農地・担い手支援課 林田審議員



パネルディスカッション風景





## 実現に向けて天草で新規就農者が集合



野川 直人氏



櫻田 聖弥氏



藤島 定治氏

令和2年2月12日(水)～13日(木)天草市担い手育成支援協議会の協力を得て、天草市河浦町の河浦支所の会議室をメイン会場に、新規就農研修生や天草管内の新規就農関係者等27名が集まり、第3回新規就農合同研修会を実施しました。

この研修は、「『夢』の実現に向けて」をメインテーマに、1日目は、基調講話「就農の決意と今、幸せ農業」を上天草市の花き農家野川直人氏が、パネディスカッションで「私はこうして困難を乗り越えて『夢』実現した」をテーマに、新規就農者である上天草市の洋蘭農家の藤島定治氏と天草市河浦町のキュウリ栽培農家の櫻田聖弥氏が話をされ、グループに分かれて「私の『夢』の実現に向けて具体的な経営計画」等について討議しました。さらに宿泊先で、参加者一同が介することにより意見交流を深めることができました。

2日目は、現地農業視察として、河浦町のキュウリ栽培農家の嶋田浩二氏と天草町のミニトマト栽培農家の益田龍一氏の各ハウスに訪問し、研修をいたしました。

アンケートでは参加者全員が「このような宿泊研修は実直な意見交換が出来てとても良い機会であった」と評価していました。



グループ討議の風景



河浦町 嶋田 浩二氏 現地視察風景



天草町 益田 龍一氏 現地視察風景

# 「ライフサイクルによる経営計画」を研修



令和元年12月9日(月)午後1時から熊本県立農業大学校研修交流館で、研修生30名参加のもと「第2回新規就農集合研修」を実施しました。

「今やること、ライフサイクル」を研修テーマに、木之内均理事長が講話した後、演習「ライフサイクル表作成に基づく就農経営計画」の立案を行い、さらに各自の経営計画案を元にグループ討議を行い、より現実的な実行計画を進められるように研修しました。

研修生の70%が「大変良かった」、30%が「良かった」とし、「木之内理事長の失敗談を含めた実践的な講義に感銘を受けた」、「ライフサイクルを考えて計画したことはなかった」などの感想が寄せられました。

この研修会で、研修生の受け入れ指導の際、営農計画、資金繰り計画の作成支援も含め、心ある人生設計などの助言が必要であることが確認できました。



## あなたの農業適性を探る

### ～農業人材適性・資質向上診断～

令和元年10月10日(木)、熊本県立農業大学校研修交流館にて、今年度2回目の農業人材適性・資質向上診断(アグリPLIアセスメント)導入普及セミナーを実施しました。研修生3名を対象に(株)BBTの乾氏を講師に、当協議会・平岡浩晃診断員がアシスタントとして、個別診断指導を実施しました。

農業で必要となる能力要素の中で、対象者の「適性・資質」と「行動特性」を総合的・多面的に、400問弱の設問回答をもとに測定、診断するものです。研修生自身が自己の個性・特性を把握してもらい、今後の研修・営農活動に活かすものであり、受入農家が研修生からの相談の際、適切かつ効果的に指導が行えるようにするものです。

参加者にとっては、研修に取り組む姿勢、さらに農業の適性を客観的に確認できた意義深い研修会であったと思われました。



# 「ガイドブック」全国に関心広がる



福井県 坂井北部丘陵地帯農推進協議会  
丘陵地農業支援センター セミナー風景

当協議会が昨年発刊した「知って助かる！就農研修受け入れガイドブック」が、全国農業新聞（九州版）や日本農業新聞（県版、全国版）に大きく掲載され大きな話題となり、新規就農者を受入れている自治体や研修機関から注文がきています。

特に、この発刊の記事を見た福井県の営農推進協議会から、このガイドブックを元にした講演要請があり、木之内均理事長が基調講演、吉村孫徳事務局長が新規就農支援策の助言を行いました。

また、熊本県では、「知って助かる！就農研修受け入れガイドブック」と「新規就農育成カリキュラム」を活用して、受け入れ農家研修会、新規就農研修生合同研修会、認定研修機関担当者研修会が行われました。

## 新規就農者のハウス建設を支援

### ～熊本県新規就農スタートアップ支援力強化事業～

令和元年度熊本県単独事業である「新規就農スタートアップ支援力強化事業」を、当協議会が実施主体となって、新規就農者へのハウス建設支援を行いました。支援対象となったのは、JA八代、JA熊本宇城、JA熊本市管内で新規独立した4人で、ハウス建設の総額は28,512千円でした。



JA八代管内現地写真



しゅん工検査の風景



# 令和元年度 理事会の開催から

## 年会費納入のお願い～令和2年度より～

令和2年3月9日(月)に開催された第4回理事会において、令和2年度からの会費徴収については当初の方針通りに行うこととなりましたので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

### ●会費徴収までの経過

令和元年度後期理事会は、第2回理事会(11月11日)にて、会費徴収への方針、次年度予算案検討を行いました。第3回理事会(12月23日)にて、JAに会費徴収の理解を深めることが不可欠とし、12月11日に開催された「JA営農部長・指導課長会議」に事務局長が出席して、協議会への会費納入の必要性を要望し、各JAにおける組織決定の依頼をいたしました。

また、同時に、熊本県、熊本県農業公社、熊本県農業会議、農林中央金庫、日本政策金融公庫(農業統括本部)等、関係機関との連携・協議、今後の事業について話し合いを行い、会費納入に関する協議を重ねてきました。

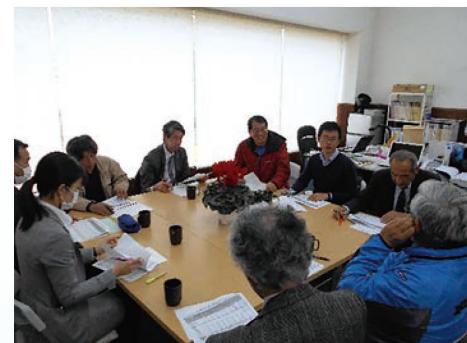
その結果、最終的に、令和2年3月9日開催の第4回理事会にて、平成31年度年度事業報告と活動計算書、令和2年度事業計画及び活動予算等の協議の中で会費納入の件も決定されました。



第2回理事会 令和元年11月11日(月)



第3回理事会 令和元年12月23日(月)



第4回理事会 令和2年3月9日(月)

## お知らせ

### 新型コロナウィルス感染防止期間の協議会活動について

歴史上稀な新型コロナウィルス感染は、日常生活に大きな影響を及ぼしています。緊急事態宣言の解除後も感染第2波、第3波のことが課題になっています。当協議会も3月中旬からは、就農相談や研修機関支援活動は「対面の自粛とテレワーク」等で実施、理事会及び総会も書面決議で行うなど、「三つの密」を避け活動しております。

くまモンと一緒に新しい  
生活スタイルを!!



手を洗うモン  
#WashHands



くっつかないモン  
#KeepDistance



換気をするモン  
#OpenWindow

©2010 熊本県くまモン





■お問い合わせ先.....



**NPO法人 熊本県就農支援機関協議会** (担当)吉村 孫徳、平岡 浩晃  
〒861-1113 熊本県合志市栄3802-4(農業公園内) TEL:096-273-6015 FAX:096-273-6016  
E-mail:k-shunoushien-k@ninus.ocn.ne.jp